

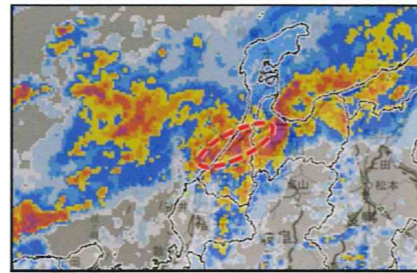
災害につながる気象情報

気象防災速報(記録的短時間大雨)

土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながる情報です。数年に1度しか降らないような猛烈な雨で、災害との関係が強いです。災害が起きる一歩手前か、すでに起きている可能性があります！

※発表基準(気象庁):石川県は1時間雨量が100mmを観測・解析した場合

《近年の発表状況》令和4年8月4日:小松市、白山市付近



「気象庁HPより:線状降水帯の発生状況」

気象防災速報(線状降水帯発生)

線状降水帯が発生して、災害発生の危険度が急激に高まっている状況です。令和7年度までは「顕著な大雨に関する気象情報」としても発表されてきました。この情報は警戒レベル4相当以上の状況で発表されます。

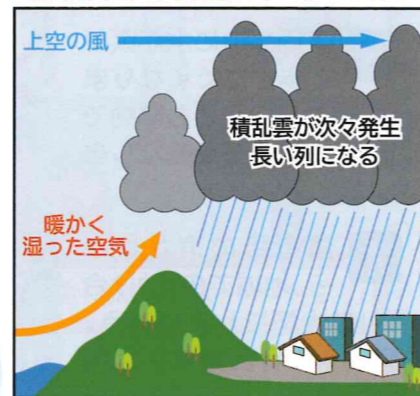
《近年の発表状況》令和7年8月7日の大雨:金沢市など加賀北部

気象防災速報(線状降水帯直前予測)※令和8年運用開始予定

線状降水帯の発生する可能性が高い地域を、発生のおよそ2~3時間前に都道府県単位で知らせる情報です。

※線状降水帯:積乱雲が列をなし、数時間にわたって同じ場所を通過または停滞します。心構えを一段高め、大雨に関する情報に注意が必要です。

線状降水帯発生のメカニズム



雨風の強さ

雨の降り方と周囲の状況

《近年の発表状況》令和7年8月7日:金沢市:最大降雨量67.5mm/h
令和4年8月4日:白山河内:最大降雨量108.0mm/h

強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に20~30mm	1時間に30~50mm	1時間に50~80mm	1時間に80~mm
傘をさしてもぬれる。車のワイパーを速くしても見づらい。	道路が川のようになる。	傘はまったく役に立たなくなる。マンホールから水がふき出す。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	

風の強さと周囲の状況

《近年の発表状況》平成30年9月4日:金沢:最大瞬間風速44.3m(台風21号)

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10~15m/s	15~20m/s	20~30m/s	30~m/s
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。	何かにつかまっていないと立っていられない。	屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックは横転する。

外水被害とは

- 外水被害は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を超えるなどして起こります。
- 家屋の倒壊・流出などの危険がある区域では、区域外への早期立ち退き避難が必要です。

堤防が決壊により大きな被害が発生!



大雨などにより川の水が堤防いっぱいまで増えると、堤防に水の圧力がかかり始めます。

水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。

堤防の崩れた場所は一気に広がり、勢いよく水が流れ出し、建物に襲いかかります。

建物の倒壊・流出に注意!

河岸侵食

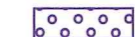


(地図上の表記)

堤防が削られて、建物などが倒壊・流出するおそれがあります。



氾濫流



(地図上の表記)

水の流れることによって、建物などが倒壊・流出するおそれがあります。



内水被害とは

- 内水被害は、雨水管・ポンプ場や排水路から雨水が排水できないことで発生します。
- 内水被害の浸水想定区域や浸水実績区域では、道路冠水などが想定されます。

マンホールからの雨水噴出に注意!



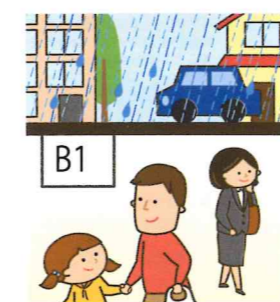
大雨のときに、マンホールから水が溢れるだけでなく、勢いよく水が噴き出し、マンホールのふたが外れる場合があります。マンホールに近づかないようにしましょう。

アンダーパスの冠水に注意!



アンダーパスとは、鉄道や道路などと交差するために、周辺の地面よりも低くなっている道路のことで、雨水が溜まりやすい場所です。冠水時の通行は危険なので、迂回するなど、危険回避を最優先に行動しましょう。

地下空間での浸水に注意!



地下空間では外の様子がわかりません。



浸水した地下空間では水圧でドアが開きません。



浸水が始まると脱出が困難になります。



浸水した地下空間ではエレベーターは使えません。